

平成 23 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493600058	事業の開始年月日	平成18年10月1日	
		指定年月日	平成18年10月1日	
法人名	株式会社ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北Ⅰ			
所在地	(245-0018) 神奈川県横浜市泉区上飯田町3795-9			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年11月5日	評価結果 市町村受理日	平成24年1月22日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

笑顔多く活気のあるホームをめざして、笑顔に触れる！心に触れる！！ 笑顔を大切にして、心に触れるコミュニケーションを楽しく働けるようなホームです
--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成23年11月29日	評価機関 評価決定日	平成23年12月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の優れている点】 ◇地域との積極的な交流 ・地域との繋がりを大切にしており、町内会の行事に参加したり、地域の一員として、事業所の周りの掃除をしている。ボランティアや、近隣の小、中学校の福祉体験学習を受け入れ、交流を楽しんでいる。月2回、障害の方のパン工房の出張販売があり、利用者も心待ちにしている。 ・「地域懇談会」を実施し、事業所を知って貰う工夫をしている。認知症講座を開いて情報を発信したり、地域の情報を貰っている。こうした取り組みの継続から、災害時、自衛消防団の応援が得られることになった。 【事業所が工夫している点】 ◇隣接する「グループホーム飯田北Ⅱ」との相互連携 ・隣接する「グループホーム飯田北Ⅱ」とは共有のウッドデッキを挟んで向い合っていることから、事業所運営の相互協力はもとより利用者間の交流もあり、特に地域対策なども連携して行い、効果を上げている。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	GHみんなの家・横浜飯田北 I
ユニット名	1 ユニット

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	新しい理念になって一年が経ちました、自分達で作った理念を積極的に取り組み、日々努めている	・職員は利用者が自分らしく生き、わがままと言えるような関係の構築に努め、「笑顔で毎日を過ごしてもらう」を目標に支援に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。地域活動に積極的に参加している（盆踊り、子供神輿等）ボランティアの受け入れも行っている2ヶ月に一回ハーモニカや手品のボランティアの受け入れも実施している	・自治会に加入し、盆踊りや秋祭りなどの行事に積極的に参加している。 ・地域懇談会や交流会を実施して、事業所の紹介や認知症講座を行い、地域との連携を深める工夫をしている。ハーモニカや手品、読み聞かせのボランティアや近隣の小、中学校のふれあい体験を受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小・中学生等へ退園学習に活かしている地域懇談会等を実施して近隣の理解にも努めている			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一回にペースで開催している。3つのホーム合同にて行っている	・運営推進会議は、3か月に1回、瀬谷区内の3事業所が合同で開催している。事業所の現状報告の後、地域代表や家族から出された意見は運営に反映している。 ・今年は災害時に地域からの協力体制の強化に関する要望が出て、自衛消防団の協力を得て避難訓練を実施した。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を含めていつでも相談できる体制が出来ている。	・瀬谷区当事業所担当者とは、入居にあたっての相談・助言を貰い、連携を図っている。 ・グループホーム連絡会や年1回開催される区の運営推進会議合同運営委員会に区の担当者の出席を得て、取り組みや課題について話し合う機会を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内に身体拘束廃止委員会を設置し、職員指導と意識の向上を図っている	・身体拘束廃止委員会を月1回開催し、チェックシートで自己点検し、何故いけないかを職員間で話し合い共有している。 ・防犯上玄関は施錠しているが、リビングのウッドデッキへ通じるガラス戸は自由に出入りできるようにしている。職員は常に入居者の見守りに努めている。	・日中の玄関開錠を図ることを目的として、利用者の見守り方法の更なる検討を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議や会社の研修等に参加したり、話し合いをもち防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や勉強会を通じて学ぶ機会があります、入居者様の中には制度をつかわれている方もいます		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に契約書をお渡しして、よく読んでいただき、その上で十分説明して納得していただけるように努めています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を通じてご意見や要望等お聞きして反映できるように努めています	・面会時や2か月毎に開催する家族会の折に、家族からの意見や要望を聞いている。 ・本人の思いや要望は、日常の生活の中で傾聴し運営に反映させている。本人が直接要望を書き、意見箱に貼ってあることもあり、言い易い関係が構築できている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議やミーティング等にて意見交換の場を設け運営に反映しています。毎日の申し送りで日々の気付き等を話あっています	・職員会議やミーティング、申し送りノートなど、あらゆる機会に職員の意見や要望を把握し、運営に反映している。具体例として遅番体制強化に関する意見が出て、人員を増やした。 ・更に半年に1回職員に対するアンケートを実施し、職員からの意見や提案の吸収につとめている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を行い、役職昇進や給料に反映させている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内研修制度があり、経験や知識にあわせた研修を実施しているまた研修でならってきたことを会議等でおとしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	会社内のエリア会議等を通じて毎月交流や勉強会の機会があり、サービスの適正化・向上に努めています。又町内会の他の2つのグループホームとは運営推進会議にて関係をもっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問してよくお話をきき信頼関係を築きながら、安心していただけるように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より相談していただきご家族の心境、不安、本人の周りの環境なども聞きとりして入居時も不安な点がないようにしっかりと説明するように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人にとって最もよいサービス利用を提案できるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフはサポート役であるように、本人に出来る事はしていただき共に生活をしているようにと考えています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会等を通じて相談しながら、本人の状態を理解して頂けるように支援しています、また電話や手紙、報告書などの形で連絡を取り合っています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人に協力していただきなるべく関係が途切れないように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・友人が訪ねてきた折は、お茶の接待をして歓迎している。以前からの馴染みのヘルパーに来てもらい、関係の継続を支援している。 ・かかりつけ医の受診や床屋には家族が付き添うが、都合のつかない時は職員が同行している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自然と入居者様同士が関係を築き声かけあってよい関係が築けている、必要があれば職員が間にはいり、よりよい		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて退居後の生活の確認を行なっている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との会話を多くすることによって今何をしたいかなど意向把握に努めている、カンファレンスなどで希望にそえるように検討している	・ 日常生活の中で一人ひとりのペースに合わせてせじつくり会話をし、思いや意向の把握に努めている。 ・ 聞き取りが困難な場合は表情等から思いを汲み取り、職員会議やミーティングで全員で情報を共有し、希望に沿えるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様から情報をお願い把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや会議等で日勤帯、夜間帯の様子の情報を集めて状態把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当職員おき、職員間での話し合いや医師からの情報や本人の日常生活上の課題等検討しています	・居室担当のモニタリング結果をもとに、全職員でのカンファレンス会議で検討し、必要事項はケアプランに反映させている。 ・協力医や看護師からの情報・意見と共に家族の要望も加えて、通常3ヶ月毎に見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日記録を残して情報共有して状況カンファレンス等で検討して計画に反映されています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関、看護や薬局と居宅療養管理指導を結び安心して生活ができるように努めています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理美容やボランティア活動の参加や避難訓練などして安心して生活が出来るように支援します		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日常的には協力医が月2回往診、医療連携看護師が週一回、歯科医の往診衛生士、薬剤師の訪問を実施している	・希望があればかかりつけ医への継続受診も支援しているが、ほとんどの利用者は、協力医で受診している。 ・月2回の協力医の往診の他、医療連携看護師が週1回、歯科医の往診が月2回、歯科衛生士や薬剤師の訪問もあり、利用者の健康保持と安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週一回訪問して健康管理や相談等させていただいています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当関係者やご家族様等に話し合い、情報を共有して本人の不安を和らげスムーズに行くように努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明書に方針を明記し、ご家族様には説明し、介護職にはについては会議等やマニュアルで方針等情報を共有している	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化や看取りについては、契約時に事業所の方針を本人と家族に説明している。 ・看取りを行う場合は医師、看護師との連携が必要だが、まだ実施例はない。家族の要望もあるので、職員を研修に参加させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人としての看取りの指針もあることから、提携医などの環境を整えるとともに、看取り体制確立のために全職員での計画的な研修の実施を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成や研修等で応急処置や心肺蘇生法の指導をいただいて身につけている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議や地域懇談会等を通じて協力をお願いをして、年2回の消防訓練実施して自衛消防団の方にもお願いしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者も参加して、年2回防災訓練を実施している。今年度は夜間想定での訓練を行ったが、運営推進会議や地域懇談会を通じて協力を呼びかけ、自衛消防団の方の参加を得ることができた。また夜間の誘導の難しさも課題として上がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に備え、飲料水や食料などの備蓄を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ間でも言葉賭けや対応についても会議等で話し合い接遇の研修もしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者には「～さん」と呼び、その方にあった話題を選んで、笑顔になるような言葉かけを心がけている ・利用者同士の関係に配慮し、プライバシーに関わる話は、他の利用者の前でしないよう注意し合っている。 ・居室ドアの小窓に和紙を貼り、外から丸見えにならないように配慮している。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	特にマニュアル等は作らずなるべくご本人の意向に沿えるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務マニュアル等も作らず「今日は何しようか」と入居者様と決めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装等本人に決めてもらいながら、好みのものと支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は入居者様と一緒に楽しく食事の盛り付けや食事をしている、必要なかたには、介助している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が盛り付け、配膳・下膳を職員と一緒にやって、職員と共に会話を楽しみながら食事をしている。 ・敬老の日、クリスマスなどには季節の特別メニューを提供している。 ・家族会で試食会を行い、メニューについての意見もお聞きしている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	キザミ食やトロミ食などご本人に合った食事形態をとっている、必要に応じて水分量や食事量をご家族様や医療関係者に連絡し相談している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している、週一回の歯科衛生士や月2回の歯科医師の指導にて清潔保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にてパターンを把握している、失敗しても、さりげなくトイレに誘導している	・排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、気配を察して声をかけ、車椅子の方も全員トイレに誘導して自立支援に努めている。 ・オムツ利用の方は日中が1名、夜間も3名のみである。誘導により、日中リハパンから布パンツに変更できた方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日適度な運動を心がけて、水分補給等気をつけて提供している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者に毎日の入浴も支援している。入浴を楽しめるように心掛けている	・週2～3回午後の入浴をしているが、希望すれば毎日でも午前中でも入浴することができる。 ・リフトを備え、車椅子の方も安全に入浴することができる。 ・入浴を嫌がる場合は無理強いせず、時間や職員を変えて再度声かけをしている。 ・入浴剤やしょうぶ湯・ゆず湯など季節や変化を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣の状況で日中昼寝したりしています		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤票等あり、また個別の一覧表で確認できる体制を作っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	昔日本舞踊等やられていた方が踊れるように支援したり、楽しみごとが出来るように支援しています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様や知人に協力していただきながら、タクシーバスを使用して外出など楽しんでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日には、歩行速度の合った人や車いすの方同士で散歩に出たり、テラスで外気浴をしている。 ・近くの電気量販店やコンビニへの買い物にも同行支援している。 ・地域の盆踊りや秋祭りに参加したり、家族と外食や墓参りに出かける人もいます。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金の管理等はこちらで実施している、必要に応じてはある程度のお金をお任せしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により支援している			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感にあった飾りつけの工夫をしたり心地よく過ごせるように支援しています	・リビングの大きな窓からの採光は豊かで、広いウッドデッキが憩いの場所となっている。 ・利用者が落ち着ける場所にテーブルと椅子を配置して、室内には季節の装飾や、利用者の作品の塗り絵や行事の写真が貼られている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスで過ごせるスペースを作り提供しているまたⅡの方との交流ももてる			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ち込み仏壇やタンス等、家族の写真などで部屋の飾りつけをしている	・カーテン、エアコン、ベッド、たんす、クローゼット、洗面台が備え付けられ、その他個々に仏壇や人形、テレビなど、なじみのものを持ち込んでいる。 ・室内の清掃は職員が利用者と一緒に行って、居心地良い部屋造りに協力している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要なものは提示して見やすくつかいやすくしている			

事業所名	GHみんなの家・横浜飯田北 I
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	新しい理念になって一年が経ちました、自分達で作った理念を積極的に取り組み、日々努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している、地域活動に積極的に参加している（盆踊り、子供神輿等）ボランティアの受け入れも行っている2ヶ月に一回ハーモニカや手品のボランティアの受け入れも実施している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小・中学生等へ退園学習に活かしている地域懇談会等を実施して近隣の理解にも努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一回にペースで開催している。3つのホーム合同にて行っている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を含めていつでも相談できる体制が出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内に身体拘束委員会を設置し、職員指導と意識の向上を図っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議や会社の研修等に参加したり、話し合いをもち防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や勉強会を通じて学ぶ機会があります、入居者様の中には制度をつかわれている方もいます		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に契約書をお渡しして、よく読んでいただき、その上で十分説明して納得していただけるように努めています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を通じてご意見や要望等お聞きして反映できるように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議やミーティング等にて意見交換の場を設け運営に反映しています。毎日の申し送りや日々の気付き等を話あっています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を行い、役職昇進や給料に反映させている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内研修制度があり、経験や知識にあわせた研修を実施しているまた研修でならってきたことを会議等でおとしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	会社内のエリア会議等を通じて毎月交流や勉強会の機会があり、サービスの適正化・向上に努めています。又町内会の他の2つのグループホームとは運営推進会議にて関係をもっている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問してよくお話をきき信頼関係を築きながら、安心していただけるように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より相談していただきご家族の心境、不安本人の周りの環境なども聞きとりして入居時も不安な点がないようにしっかりと説明するように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人にとって最もよいサービス利用を提案できるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフはサポート役であるように、本人に出来る事はしていただき共に生活をしているようにと考えています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会等を通じて相談しながら、本人の状態を理解して頂けるように支援しています、また電話や手紙、報告書などの形で連絡を取り合っています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人に協力していただきなるべく関係が途切れないように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自然と入居者様同士が関係を築き声かけあってよい関係が築けている、必要があれば職員が間にはいり、よりよい		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて退居後の生活の確認を行なっている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との会話を多くすることによって今何をしたいかなど意向把握に努めている、カンファレンスなどで希望にそえるように検討している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様から情報をもらい把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りや会議等で日勤帯、夜間帯の様子情報を集めて状態把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当職員おき、職員間での話し合いや医師からの情報や本人の日常生活上の課題等検討しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日記録を残して情報共有して状況カンファレンス等で検討して計画に反映されています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関、看護や薬局と居宅療養管理指導を結び安心して生活ができるように努めています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理美容やボランティア活動の参加や避難訓練などして安心して生活ができるように支援します		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日常的には協力医が月2階往診、医療連携看護師が週一回、歯科医の往診衛生士、薬剤師の訪問を実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週一回訪問して健康管理や相談等させていただいています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当関係者やご家族様等に話し合い、情報を共有して本人の不安を和らげスムーズに行くように努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明書に方針を明記し、ご家族様には説明し、介護職にはついては会議等やマニュアルで方針等情報を共有している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成や研修等で応急処置や心肺蘇生法の指導をいただいて身につけている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議や地域懇談会等を通じて協力をお願いをして、年2回の消防訓練実施して自衛消防団の方にもお願いしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ間でも言葉賭けや対応についても会議等で話し合い接遇の研修もしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	特にマニュアル等は作らずなるべくご本人の意向に沿えるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務マニュアル等も作らず「今日は何しようか」と入居者様と決めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装等本人に決めてもらいながら、好みのものと支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けは毎回していただいている、配膳も下膳も出来るかたにやってもらっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	キザミ食やトロミ食などご本人に合った食事形態をとっている、必要に応じて水分量や食事量をご家族様や医療関係者に連絡し相談している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している、週一回の歯科衛生士や月2回の歯科医師の指導にて清潔保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にてパターンを把握している、失敗しても、さりげなくトイレに誘導している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日適度な運動を心がけて、水分補給等気をつけて提供している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者に毎日の入浴も支援している。入浴を楽しめるように心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣の状況で日中昼寝したりしています		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤票等あり、また個別の一覧表で確認できる体制を作っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や本人の楽しみごととはできるだけ過ごせるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様や知人に協力していただきながら、タクシーバスを使用して外出など楽しんでいる		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金の管理等はこちらで実施している、必要に応じてはある程度のお金をお任せしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感にあった飾りつけの工夫したり心地よく過ごせるように支援しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスで過ごせるスペースを作り提供しているまたⅡの方との交流ももてる		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ち込み仏壇やタンス等、家族の写真などで部屋の飾りつけをしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要なものは提示して見やすくつかいやすくしている		

目標達成計画

事業所名グループホームみんなの家・横浜飯田北 I

作成日 平成24年1月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りに関しては会社のマニュアルはあるが、まだまだ知識不足である	全職員が知識を身につけたい	研修に積極的に参加したり、資料があるため、内部研修にも力を入れていく	3ヶ月
2	35	事業部等には備蓄しているが、当ホームにはちいさい防災袋しかない。	人数分の飲料水等そろえる	今月中に発中して飲料水等確保する	1ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。